

令和3年度

第2回岩沼市総合教育会議

議事録

1. 招集日時 令和3年12月22日(水)午後3時00分
2. 招集場所 岩沼市役所1階 大会議室
3. 議 題 (1) 令和4年度重点的に取り組む教育施策について
(2) 教育委員会の課題について
4. 出席者 菊地啓夫市長、百井崇教育長、佐藤雅晴教育長職務代理者
小林修子委員、南館公雄委員、氏家真由美委員
5. 出席補助職員
鈴木隆夫副市長、星幸浩総務部長、新妻敏幸市民経済部長
大元利之健康福祉部長、菅原伸浩建設部長(併)上下水道部長
大友康弘教育次長兼教育総務課長事務取扱、矢口晃参事兼学校教育課長
佐々木拓也生涯学習課長、遠藤大輔政策企画課長
6. 欠席委員 なし
7. 傍聴者 なし
8. 本会議の書記
山下真理子教育総務課主幹兼総務係長
9. 開会 午後3時00分
10. 閉会 午後4時05分
11. 議事録署名人
百井崇教育長
12. 事務局職員
大友康弘教育次長兼教育総務課長事務取扱
山下真理子教育総務課主幹兼総務係長
13. 議事の経過
以下のとおり

大友教育次長兼総務課長事務取扱

只今より令和3年度第2回岩沼市総合教育会議を開会いたします。

はじめに、菊地市長より開会の挨拶をお願いします。

菊地市長

年末のお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルスのワクチン接種について、3回目を予定しています。医療従事者に対する接種が始まっており、1月末には高齢者の接種をスタートする見込みです。国からは接種間隔を8ヶ月から6ヶ月に前倒して実施することを示されていますが、追いついていないのが実状です。ワクチンの調達問題等ありますが、市では本格的な実施に向けて、しっかりと取り組んでまいります。

12月議会では、教育関係の御質問もありました。特にGIGAスクールについて、岩沼のレベルを上げてほしいという内容の話がありました。実際は、岩沼が到達しているレベルは高いところにあるのですが、議員さんが持っているイメージと現場のイメージが噛み合っていないように感じられました。学校教育の中身を知っていて、かつICT機器の扱いに長けている方がいると良いのですが、難しい状況である市町村が多い様子です。岩沼では優秀な先生方がおいでになり、順調に進んでいることをお話しております。

また、議会では、人口の減少、特に子どもの数が減少していて不安であるとの話がありました。東京都の次に出生率が少ないのが宮城県です。出生数より死亡者数が多いことが人口減少の要因になりますが、生まれてから亡くなるまで定住しているとは限らず、人は動きます。岩沼では、毎月約2,000人出て約2,000人入る状況で、今は若干プラスになっております。相対的には、亡くなる方の数が多いために人口数が下がっています。岩沼市は、子どもたちが入学する時期に、転入者が増えているという特徴があります。このようなことを議会で示し、岩沼市の人口減少はそれほど酷い状況ではなく、現状維持していきたいとお話いたしました。

日本海溝・千島海溝の巨大地震被害想定が政府から公表されました。常々の訓練が被害を最小限に食い止めることに繋がると思いますので、引き続き、訓練を実施していきたいと思います。

本日は「令和4年度重点的に取り組む教育施策について」及び「教育委員会の課題について」を議題として、説明させていただきながら御意見をいただきたいと思います。

どうぞよろしく申し上げます。

大友教育次長兼総務課長事務取扱

続きまして、教育委員会を代表しまして、百井教育長より挨拶をお願いします。

百井教育長

本日は、お集まりいただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染防止対策として、これまで数々の行事を縮小してまいりました。コロナ禍をきっかけに、学校の本質について考え、行事の必要性や在り方について見直しています。

児童生徒一人一人に iPad の配布も済み、その他ハード面の整備も概ね完了しました。これからは、教育の質的向上を図るよう努力しております。教職員の力量向上に努め、子どもたちが安心して通学できる、より良い学校にしていきたいと思っております。

本日はどうぞよろしく申し上げます。

【15時20分：南館委員退席】

大友教育次長兼総務課長事務取扱

それでは会議に入らせていただきますが、総合教育会議の議長は、運営要綱第4条の規定により、市長が務めることになっております。ここからは菊地市長に会議を進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

菊地市長

規定により議長を務めさせていただきます。はじめに、議事録署名員を指名させていただきます。今回は、順番により百井教育長に署名をお願いします。

本日の議題は「令和4年度重点的に取り組む教育施策について」「教育委員会の課題について 英語教育」です。関連しますので、合わせて皆様と意見交換をしたいと思います。まず、事務局から説明してください。

大友教育次長兼総務課長事務取扱

令和4年度重点的に取り組む教育施策について教育委員会全体の基本方針をお話いたします。

いわぬま未来構想に掲げるまちづくりの柱の1つである「生涯現役で心豊かな『人』づくり」の実現に向け、教育基本方針、教育等の振興に関する施策の大綱の具現化のため、特に次の点に重点を置き、各種施策に取り組むものとしていきます。

令和 4 年度における重点施策の 1 つである「健康で笑顔あふれるまちづくり」を進めるため、児童生徒が安全快適に学校生活を送ることができる教育環境の整備を推進していきます。また、学校を核とした学習機会の充実、ふるさと教育の充実等を進めます。

- ① 子どもたちの快適な学習環境整備及び施設長寿命化を図るための的確な改修修繕事業の実施
- ② ICT 環境を活かしたデジタル教材の導入などによる幅広い学習機会の提供と ALT や指導助手等の配置による学習支援体制の整備を図る
- ③ 歴史史料活用の方角付け及び原遺跡の発掘調査など文化財保護事業の推進並びに生涯学習環境と支援体制の向上
- ④ 指定管理者や大学等との連携による地域部活動を含む生涯スポーツ環境と支援体制の向上

続いて、教育総務課についてです。

重点施策のひとつである「健康で笑顔あふれるまちづくり」を進めるため、児童生徒が安全快適に学校生活を送ることができる教育環境の整備を推進するため、次の点に配慮しながら必要な施策を実行していきます。

- ① 学校施設長寿命化計画に沿った学校施設・設備の維持修繕等を行う
- ② 岩沼小学校北校舎の LED 化及び岩沼北中学校校舎照明 LED 化のため設計を行う
- ③ 学校 ICT 環境の整備を進める
- ④ 学校給食調理業務の円滑な運営を図る
- ⑤ 学校施設の現状を確認し、必要不可欠な備品、教材を整備する

令和 4 年度において行うべき急を要する大規模な工事はありませんが、西小学校の大規模改修に向けた劣化調査や学校照明設備の LED 化を進めるとともに、各校とも建物、設備等の老朽化が厳しい状況であることから、適切な維持・修繕に努めていきます。

あわせて、これまで整備してきた ICT 機器やネットワーク及びエアコン機器など学校運営に支障がでないよう適切に管理していきます。

また、学校運営における新型コロナウイルス感染拡大防止に必要な手立てを確実に行ってまいります。

なお、令和 3 年度に整備した大きなものとしては、

- ① 県の環境交付金を活用した、岩沼小学校本校舎照明の LED 化（完了：令和 3 年 9 月）

- ② 岩沼北中学校木造校舎屋根修繕（完了：令和 3 年 10 月）
 - ③ 岩沼南小学校屋内運動場屋根修繕（完了：令和 3 年 11 月）
 - ④ 中学校 ICT 環境整備として、電子黒板機能付プロジェクター設置、黒板板面を映写兼用仕様へ更新
 - ⑤ 学校 ICT 環境整備として、統合型校務支援システム構築（令和 4 年 4 月本稼働）
- 教育総務課からは、以上でございます。

佐々木生涯学習課長

生涯学習課の来年度の主な事業を申し上げます。

生涯学習課では、第 3 次生涯学習推進計画に基づき、市民の生涯学習を支援するとともに、施設・設備の適切な管理運営に努めます。また、市民のスポーツ環境を整備するとともに、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむ機会や、交流の場等の提供に努めます。

主な項目としては、7 項目挙げさせていただきます。

まず、1. 協働教育の推進では、学校と地域との協働教育として開催しております「のびやか教室」ですが、子どもたちの、放課後の居場所づくりという点で、大切な事業と捉えております。また、コラボスクール（里山体験学習）についても、学校からの要望に答える形で、継続して開催したいと考えております。

また、岩沼に愛着を持つ人材育成事業として始まった、郷土料理を学ぶ「ふるさとの味はらこ飯の学習」及び「松尾芭蕉奥の細道いわぬま二木の松俳句大会」を継続して開催できるよう必要な予算を計上しているほか、子どもたちの移動手段を確保することで、校外学習の機会を増やすための、バス運行の委託経費なども計上いたしております。

2. 市史等活用の推進につきましては、今年度の「通史編：近代・現代」及び「特別編：震災」の刊行により、市史編纂が完了いたします。この刊行された市史と、これまで長年にわたって収集してまいりました歴史史料の、保存・活用の仕組みを構築するとともに、史料公開に向けた整理を進めてまいります。

3. 埋蔵文化財包蔵地の適切な保存と調査の推進について、一つは原遺跡の第 7 次調査の実施です。来年度は、第 6 次の成果を踏まえ、遺跡範囲を確認する調査を引き続き行いたいと考えております。

また、武隈の松保存活用計画に基づき、松の保護及び安全確保に努めてまいります。

4. 社会教育施設等の適切な管理運営については、西公民館の廃止に伴い、中央公民館

の体制整備及び西分館を含む市民図書館の蔵書充実に努めてまいります。

5. 指定管理者による体育施設の円滑な管理運営につきましては、スポーツの振興、市民の健康・体力の増進等、指定管理導入の目的が達成できるよう、市民サービスの向上等についてのチェック体制を充実させていきたいと考えております。

6. スポーツ施設の整備と活用の促進については、指定管理者と連携し、施設改修を進めるとともに、エアポートマラソンなど、コロナ対策のため実施できなかったスポーツ大会等の開催に努めてまいります。

7. 部活動支援事業の定着及び促進については、指定管理者及び仙台大学との連携を継続し、今後の新しい部活動のモデルとなるよう、取り組みを進めてまいります。

生涯学習課からは、以上でございます。

矢口参事兼学校教育課長

学校教育課の令和4年度重点施策として、大きく4点ございます。

まず、「1. 一人ひとりを大切にした生徒指導と心のケアの充実」でございます。学校現場における教育課題は多岐に渡っており、児童生徒一人ひとり、違った悩みを抱えています。関係機関との連携を図り、保護者を含めた相談体制を充実させ、課題の解決に向けて進めていきたいと考えております。具体的には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを継続して配置し、また、「あいるーむ」での居場所づくりや学習支援に加え、福祉部局との連携、県の不登校対策事業も積極的に活用し、課題解決に繋げていきたいと考えております。

「2. 教育環境の整備」としまして、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな支援の充実、教員の児童生徒と向き合う時間の確保を図るため、小・中学校指導助手、特別支援指導助手、特別支援教育支援員を配置してまいります。また、ALTの配置については、1名増員を計画しており、英語教育の充実を図りたいと考えております。さらに、ICT教育関連では、授業支援システム、電子教材、デジタル教科書の整備を図り、教育の充実を図りたいと考えております。

「3. 特色ある学校づくりの推進」として、本事業を継続して進め、児童生徒の夢やあこがれを育み、地域に根ざした学校づくりを目指してまいりたいと思います。

「4. 学び塾の開催」につきましても、継続して実施したいと考えております。児童生徒の学習習慣の確立、基礎学力の向上を図りたいと考えております。

続きまして、教育委員会の課題、英語教育ということで、教育活動における ALT 活用の現状と課題について申し上げます。現状といたしましては、市内小中学校に ALT 5 名を配置しております。配置先は、岩小と玉小の兼務 1 名、西小単独で 1 名、玉小と南小の兼務 1 名、岩中と北中の兼務 1 名、玉中と西中の兼務 1 名となっております。授業日数は、小学校月平均 1 校あたり 13 日、中学校月平均 1 校あたり 9 日です。授業以外にも休み時間において会話を楽しんだり、外遊びを一緒にするなど、英語に触れる機会を意図的に設定しております。

ここで、ALT の活動の様子について映像を用意しましたので、御覧いただきます。

【西小、岩中、北中の ALT について、授業や休み時間の活動の様子、掲示物による外国文化の紹介等 活動状況の放映】

矢口参事兼学校教育課長

ALT の課題について申し上げます。

今後、外国語教育を進めるにあたり、更なる充実を図っていきたいと思いますが、そのためには ALT の増員が課題であると考えられます。資料に、小学 3、4 学年の学習指導要領「外国語活動」、小学 5、6 学年の学習指導要領「外国語」、中学校学習指導要領「外国語」のそれぞれの目標を示しました。その中では、コミュニケーションについて多く記載されています。ネイティブな英語に触れる機会を数多く設定し、コミュニケーションを図ることが、教育の充実につながるものと考えております。その点において、ALT の増員が求められていると考えます。民間の英語学習塾に通っている、通っていないで、学習意欲に差が出てきてしまうことは避けたいと考えております。特に、外国語学習がスタートする小学校においては、どの学校でもネイティブな発音に触れる機会を同じく整えていきたいと思っております。また、現在、玉浦小学校では 2 人の ALT が学習指導にあっておりますが、小学生の発達段階を考えると、いつも同じ ALT から指導を受ける方が、メリットが大きいと思われれます。

以上、小中学校における ALT の活用状況について現状と課題を申し上げます。

菊地市長

各委員さんより御意見をいただきたいと思っております。氏家委員、お願いします。

氏家委員

ALT には、語学学習だけでなく、コミュニケーションが求められるのだと思います。ALT とのふれ合いや、アドベンチャーカレンダーなどで文化を知ることから、子どもたちが多くのもので得られるように感じました。課題として挙げられていたように、ALT を増員することで、子どもたちがより深く関われるようになると思います。

英語検定の検定料が年々上がっています。かつて 2,800 円であった本会場の検定料が 7,900 円にもなっており、中学生で持っていたい級を受けるには高すぎると感じています。コロナ禍のために学校を準会場にすることは難しいと思いますが、英語検定について、市で考えがあれば伺いたいと思います。

百井教育長

20 年ほど前に、角田市で小学校を英語の特区として取り組んだことがあります。その際にも検定料が問題になりました。市で児童生徒の検定料を負担することは難しいと思われませんが、英検が基礎資格になっている面があるので、研究したいと思います。

菊地市長

英語検定を受ける人は多いのでしょうか。

氏家委員

受検者は多く、検定は英語学習に対するモチベーションを上げることに役立っています。市で検定料の補助をすることは難しいと思いますが、検定を学校として全体的に取り組むなど、意欲が盛り上がる活動があれば良いように思います。

百井教育長

級の取得は意欲を持つことに繋がると思います。このことについては、考えていきたいと思っています。

佐藤職務代理者

北中を会場にして英語検定を実施したことがあったと思います。学校を会場にすることで検定料を安価にすることができるので、複数校を一つの会場で実施することなども含め、方策を考えても良いように思います。

菊地市長

ぜひ活用を考えていただきたいと思います。佐藤委員、お願いします。

佐藤職務代理者

経済格差が教育格差に繋がってしまうことを心配しています。学習塾を考えると、一つの塾で8,000円から17,000円も一月にかかるようで、それを複数受けている家庭もあります。英語の重要性を感じている家庭も多く、3歳頃から英語教室に通っている子もいます。小学校で英語に初めて触れる子が、不安を感じずに英語教育の流れに入っていくよう、補完するのがALTなのだと思います。今は、2校を兼務してALTが配置されていますが、フルタイムで学校に居ることで遊びの中でネイティブに触れることができるようになりますし、多くの気づきも得られることと思います。小学校全校にALTが1名ずつ配置になれば、小学校で初めて英語に触れる子と既に学習している子の格差が是正できるのでないかと思います。ぜひ、ALTの全校配置をよろしくお願いします。

菊地市長

1校1名配置が理想的なのだと思いますが、どこまで、どのレベルまで持っていくかを考えなければなりません。チャンスを作るのが我々の務めなのだと思います。

百井教育長

家庭の経済格差による教育格差は現実であり、特に中学3年生で感じます。それを授業の中で解消するよう努力しています。

佐藤職務代理者

5年生でゼロから英語学習を始める子と、英語に堪能な子が同じ教室にいて、授業をどのレベルに合わせて行うのか、先生方も苦慮していることと思います。子どもたちの集中度にも影響してくると思います。日常に英語が身近にある環境を作ってあげることで興味や関心が生まれるものだと思いますし、将来の伸び幅になると思います。

菊地市長

英語圏で育った子や英語に堪能な子が同じ教室にいる中で授業を行うのは苦しいことだと思います。都会ではどのような状況なのでしょう。

佐藤職務代理者

都会では、進んでいる子は私立学校に行ってしまう。都市部には多くの選択肢がありますが、地方にはそれが無いので、公立学校で対応しなければなりません。

菊地市長

都市部と地方の格差もあるようです。海外に行く人もいるでしょうし、一つの教室内でも格差が出てきてしまいそうです。

佐藤職務代理者

習熟度で子どもたちを分けることはできないので、先生方は大変だと思います。

百井教育長

英語だけでなく、全ての教科がそのとおりです。差があることに悩みながら、工夫して授業を行っています。

菊地市長

実態を知ることが大事なのだと思います。小林委員さんいかがですか。

小林委員

ALT に触れることでコミュニケーション力を身に付けてほしいと思っています。ただし、英検 1 級を持っているから英語を活かして働けるとは限らず、知識だけではないとも感じています。数学や理科などの教科とは違い、英語は知識よりもコミュニケーション力が大事だと思います。実際に外国の方とふれ合ったときの発音に対するコンプレックスを解消するためには、ネイティブに触れ、瞬発的に言葉が出るようにコミュニケーション力を培う必要があります。ALT とふれ合うことが大きなきっかけになるのでしょうか。ALT が常時いて、子どもたちと話せる体制であれば、日常に話せるようになってくるように思います。

菊地市長

ALT が常時いることは、会話が普通にできるようになるために大事なのだと思います。外国人と話す機会を増やすことが必要なようです。百井教育長、お願いします。

百井教育長

言葉の習得のために、遠足などの活動を、ALT と一緒に、会話をしながら行うように指示しています。同じ場面を共に過ごすことで言葉が出てくるようになると思いますので、そこに近づける努力をしています。また、英語活動だけでなく、体育や図工など他の教科にも ALT が入るように指示しています。言葉の習得はコミュニケーション力ですので、引け目を感じずに入れるようにしていきたいと思います。ぜひ充実させていきたいと思います。

菊地市長

外国語に接する機会を少しでも広げていくことが必要なのでしょう。ALT の確保も難しいと聞きます。研究していきたいと思います。

百井教育長

ALT は誰でも良いというのではなく、子どもたちの前に出すのにふさわしい、人柄良く、熱意のある人を選んでいただいております。

菊地市長

委員さん方の思いを聞かせていただきました。今後、こういったことが子どもたちに大きくプラスになってくるのだと思います。英語教育以外にもあればお聞かせください。

小林委員

日頃から人員配置が大事だと感じています。ICT 教育について、環境は整ったので、今後は使いこなす人の配置が大事になると思います。割愛により ICT 分野に詳しい先生の配置を要望しているとの話を聞きました。ぜひ実現していただきたいと思います。

百井教育長

技術的な勉強をしてきた人で教育活動も知っている人に来てもらいたいと思っています。また、市のデジタル化推進室にも協力をいただきながら進めていきたいと思っています。

菊地市長

この問題は、教育長と話をしてきました。学校で必要なことが分からないと対応が不十分になってしまうでしょうし、よく考えて人員配置しないと効果が出ないように思います。行政も ICT については大きく変わる時期で、岩沼では NTT からの支援を受けて取り組んでいます。国もデジタル化し、行政サービスが大きく変わってきます。国の標準システムがまもなく整い、それに我々の情報を繋げていくのが次の段階です。技術的な部分も教育内容も分かる人を見つけることは難しいと思いますが、技術面については市に相談できる窓口を作るつもりです。今後の対策については市でも考えており、ソフトに対応できる人を育てていこうとしています。

矢口参事兼学校教育課長

ICT 教育については、現場でも頑張っています。副参事を中心に研修会を開催し、困り事に対してもタイムリーに解決を図っています。岩沼は他市町村に比べて進んでいるという自負がありますが、知識のある人を配置していただけたら、更に進むものと考えています。

菊地市長

若い人は ICT 機器を難なく使えるようにと思いますが、やれと言われてもなかなかでき

ない人もいると思われます。道具は揃えていくつもりですが、使いこなしていくために今、力をお借りしています。ICT の分野は、まだまだこれから動くと思われます。

その他、無いようでしたら、本日の会議はこれで終わりたいと思います。会議の中身については、内部で検討させていただき、できるだけ反映させたいと思います。

大友教育次長兼総務課長事務取扱

熱心な御議論、お疲れ様でございました。

以上をもちまして、令和3年度第2回総合教育会議を閉会させていただきます。

(16時05分閉会)

この議事録の作成者は、次のとおりである。

教育総務課主幹兼総務係長 山下 真理子

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

令和4年 2月 10日

議事録署名人

白井 崇